



ニュースリリース

2004.5.19 日刊工業新聞

M&Aで新規事業 40億円枠内で複数取得も

フジ日本精糖は04年度中にも、企業の合併・買収（M&A）により新規事業に参入する。非精糖事業拡大施策の一環として、現行の経営資源を横展開できる分野でM&Aを行う。最大40億円の枠内で複数案件の取得も念頭に、数億円以上の事業獲得を狙う。資金は約27億円の現預金と約29億円の投資有価証券、および約3億円の長期性預金の各自己資金で賄う。

すでに江口達夫執行役員をトップに、M&Aの検討チームを5人で組織した。同社では精糖事業のほか、イヌリンや切り花活力剤などの食品物資事業、および不動産、金融の各事業を手がけており、「今までのノウハウを生かせる分野で、第5の柱を育成したい」（渡辺彰三社長）考え。